

「素敵な家ね」と言われたい!

# 門づくりレッスン

Lesson

## 1 スタイルを決めましょう。

### それぞれの特長+あなたのお好みで

エクステリアのスタイルは「オープン・セミクローズ・クローズ」の3つ。それぞれ長所や注意点が異なりますので、それを知ったうえで、ライフスタイルやお好みに合わせ、道路や隣地との位置関係・景観なども配慮して決めてください。

#### 徹底比較! わが家に合うのはどのスタイル?

	オープンスタイル <b>O</b>	セミクローズスタイル <b>S</b>	クローズスタイル <b>C</b>
	<p>門扉や塀を設置しない、明るく開放的なスタイルです。人が気軽に立ち寄れる、親しみのある家に、建物や庭の美しさを演出し、「見せるガーデニング」を楽しみたい方にもおすすめです。</p>	<p>門扉やスクリーンで仕切ったり、低いフェンスで囲うなど、視線を完全には遮らず、オープンとクローズの両方の良さを備えたスタイル。開放感とプライバシーの両方がポイントになります。</p>	<p>門扉や塀、生け垣などで敷地をすべて囲ったスタイルです。外部との遮断によって心安まる空間がつかれます。閉鎖感を和らげる工夫や、おしゃれな演出が大切。</p>
プライバシー	△ 外からの視線がさげられず入ってくるので、大きな全開口窓が通路側に来る場合、部分的にルーバーフェンス、植栽などで目隠しが必要です。	○ 玄関まわりや道路に面した窓など、外からの視線が気になる箇所には木を植えたりスクリーンなどを設置して、さりげなく目隠しましょう。	◎ 道路や隣家からの視線が入りやすく、生け垣や高い塀があれば音も入りやすいので、プライバシーが守られ、落ち着いてくつろげます。
開放感	◎ 仕切りがないため明るくて開放的で、限られた敷地でもゆったりと広く感じられます。また、訪れる人を気軽に迎えることができます。	○ 軽快な間仕切りや低いフェンスなどを上手に利用すれば、明るさや広々とした開放感はほとんど損なわずに、落ち着きも得られます。	△ 閉鎖感や圧迫感を与えないように、塀にスリットや窓をあけたり、ガラスブロックや縦格子などを使って「見え隠れ」を演出しましょう。
機能性	◎ 仕切りがないので車の出し入れもラク。車庫とアプローチを隣接させ、車庫からスムーズに玄関にアクセスできる動線を考えてみましょう。	○ 門まわりを囲い、車庫をオープンにした場合、門まわりの動線はやや不便に。車庫からアプローチへのサポの入口をつけるなど機能的です。	△ 門扉やフェンスで囲まれている分、人や車の出入りは少し手間取ります。電気錠や電動シャッターを導入しリモコン操作でスムーズに。
安全性	△ 子どもやペットが道路に飛び出さないように、低い壁や仕切り、低木などでガードを。ペット用に一定のスペースをフェンスで囲う配慮も。	○ 門塀の隙間などから、子どもやペットが外に飛び出す可能性もあるので注意。カーポートの前はペットガード付門扉などでガードして。	◎ 敷地を囲っているため、飛び出しの心配はなし。逆に子どもの友達が気軽に出入りしやすいように、軽快な通用門などの設置も考えて。
防犯性	○ 侵入者が隠れる場所がないという意味では、防犯性は高いのですが、建物を守る囲いが少ないので、建物自体の防犯性を強化しましょう。	○ 低いフェンスや軽快な仕切りは、侵入者が内側に隠れようとしても目立つので防犯性も高く、仕切りがある分心理的な安心感もあります。	△ 塀が高く視線が届かず、侵入者が内側に隠れやすい点が心配。ただしセキュリティシステムなどを装備すれば防犯性は万全になります。

わが家らしい門まわりをつくりたい。でも、どうやって?

そこで、素敵な門づくりに成功した実例を参考に、門まわりの基礎知識やプランニングのコツを学びましょう。

### オープンスタイル

Open Style **O**

#### 一枚の絵のような外観が、より美しく映える case 1

南国リゾート風の印象的な外観を引き立てるため、ファサードはオープンにして極力シンプルにまとめました。玄関の前は視線が届かないように壁を設置しています。



(K様邸)

#### カースペースの梁をのばして開放的なゲートに case 2



(U様邸)

シンプルな門柱を立てたオープンスタイル。敷地の端までのばした「M.シェード」の梁がゲートの役割も果たし、カースペースからアプローチまで一体感のあるファサードに。

#### 2枚の門柱の配置で視線をさりげなく抑えて case 3



(U様邸)

道路に対して斜めに建物を建て、ファサードには2枚の平門柱を角度をつけて配置。外からの視線を抑え、中に入りにくい雰囲気をつくったので、オープンなのに落ち着きます。

#### 限られた敷地には省スペースな機能門柱を活用 case 4



(S様邸)

ファサードにスペースが取れない場合、門扉やフェンスで仕切ってしまうとさらに狭く感じるので、シンプルな機能門柱に門まわりの機能を集約させて、空間を広く有効に。

#### 道行く人も楽しめる「見せるガーデニング」 case 5



(S様邸)

所要場所に植栽を配置して、床に芝生でラインを描き、通りすがりの人が花や緑を眺めて楽しめるファサードに。玄関口や庭への視線は、樹木で上手に抑えています。

セミクローズスタイル Semi Close Style **S**

気になる視線は横格子や植栽で抑える **case 1**

和室前には横格子を設け、玄関脇にはソコゴなどを植えて、お向かいからの視線を自然に抑えています。気になるスポットさえ目隠しできれば、他がオープンになっていても落ち着きます。



(Y様邸)

前後の門柱と立ち並ぶ樹木が印象的な外観 **case 2**



(K様邸)

2枚の平門柱がインパクトのある門まわりを演出し、建物にもすっきりと調和。高低をつけた植栽や角柱のリズミカルな並びが道行く人の目を惹き寄せ、さりげない目隠しに。

ファサードの一部だけ囲って外観にメリハリを **case 3**



(I様邸)

カースペースはオープンに、右側のアプローチはセミクローズにして玄関まわりに落ち着きを。扉の位置を前後にずらし、窓を設け、ゆるやかに囲って開放感を保っています。

高低差と低いフェンスで開放感と落ち着きを **case 4**



(I様邸)

ステップで数段の高さがあるので、フェンスを低くしても道路からの視線が届きにくく、開放感と落ち着きを両立。同居のご両親のために、左側にはスロープと手すりも設置。

軽快なフェンスで見せながらやさしく仕切る **case 5**



(H様邸)

門扉・フェンス・跳ね上げ扉ともに細いラインの軽快なデザインなので、きちんと仕切っても開放的。中の様子がほとんど見え隠れして、オープン感覚のファサードに。

クローズスタイル Close Style **C**

素材を使い分けて存在感のある門まわりに **case 1**

高い門とフェンスでしっかりとクローズ。細刻のポータータイル、塗り壁、ガラスブロック、たて格子などさまざまな素材やデザインで変化をつけ、門まわりに高級感と存在感を。



(M様邸)

建物に合わせたツートンカラーで外観を統一 **case 2**



(K様邸)

アイボリーとこげ茶の建物に合わせて、門まわりもツートンカラーで統一。扉にスリットを入れたガラスブロックで窓を設けているので、クローズでも圧迫感を感じさせません。

広い庭をしっかりと囲って格調高い「家の顔」に **case 3**



(Y様邸)

白い塗り壁に大理石張りの門構え、大型の引戸扉、木調フェンスで広い庭を囲み、荘厳な門まわりを演出。ダークで落ち着いた色調が、統一感と風格をもたらしています。

車用の門と人の出入り口を併設して使いやすく **case 4**



(O様邸)

車の出入りが多いため自動車専用のスライディングゲートを設置。その脇に人の通行用の門扉も設けてスムーズに。扉にはスリットを入れ、閉鎖感を感じさせない工夫を。

高い扉に縦長の窓をあけて庭の気配を伝える **case 5**



(T様邸)

高い扉と門扉、車庫前の跳ね上げ扉でしっかりとクローズ。黒の門扉とグレーの天然石で重厚感を出すとともに、重くなりすぎないように扉は白く塗って窓をあけています。